

カツオと鯉のぼりの川渡し フェスティバル開催

坂折地区が平成13年以降毎年行っている「カツオと鯉のぼりの川渡し」が今年も4月23日(日)から5月7日(日)まで開催され、5月3日(水)にはフェスティバルも行われました。

毎年1000匹ほどのカツオのぼりと鯉のぼりが伊与木川周辺に展示され、4月下旬から5月上旬にかけて坂折地区には県内外から多くの人が訪れます。今年はテレビ高知での事前告知もあり、期間中は約3000人の来場者で賑わいました。

3日(水)に行われたフェスティバルは今年で10回目となり、途中少し雨も降りましたが、佐賀中学校吹奏楽部の演奏や地場産品の販売、紙の鯉のぼり作り体験などの催しが行われました。紙の鯉のぼりのプレゼントは子どもたちにとっても好評で、受け取った子どもたちは笑顔で手に取り喜んでいました。

実行委員会・会長で坂折地区の区長でもある大谷清水さんは、「途中に雨も降ったが、佐賀中学校の演奏や他の催し物も無事に終える

ことができた。多くの方に協力をしていただきとても感謝している。来年もまた開催できるよう頑張っていきたい」と話していました。



紙の鯉のぼりをする子どもたち



川を渡るカツオ・鯉のぼり



色鮮やかな紙の鯉のぼり



空を泳ぐ鯉のぼり

月明かりの下で映画祭開催

入野の浜で5月5日(金)・6日(土)、黒潮町初の企画となる「The Moonlight Film Festival」が砂浜で楽しむ月夜の映画祭が開催されました。両日合わせて約400人の来場があり、最後は来場者からの拍手で幕を閉じました。

本イベントは、入野の浜を会場とし、来場者それぞれが自由に映画を楽しむというコンセプトで企画されたもので、波の音や風の音をBGMに、映画鑑賞だけではなく、それぞれが大切な人との時間を味わってほしいという思いのもと開催されました。

1日目は日本映画「舟を編む」、2日目はフランス映画「最強のふたり」が上映され、両日ともに200人程がキャンドルの暖かな光に包まれ砂浜での鑑賞を楽しみました。

また、会場後方には色鮮やかな特別シートが設けられ、20〜30代を限定とした出会いの場の提供もありました。

兵庫県や東京都など県外から訪れたという人もおり、来場者は「今までにない企画。とても素敵な雰囲気であった」「解放的だった」

と非日常的空間を満喫していた様子でした。



カラフルな特別鑑賞席



2日間ともに天候に恵まれました



暗くなると印象も変わる会場